



NAGOYA
AERIAL
FIRE



NOBUNAGA
HIDEYOSHI
WAKASYACHI

NAGOYA AERIAL FIRE CORPS

名古屋市消防航空隊



概要

Overview

名古屋市消防航空隊は、興営名古屋空港を拠点に、消防ヘリコプター「のぶなが」「ひでよし」の2機を保有しています。令和4年4月からは、愛知県の防災航空業務を名古屋市が受託したことに伴い、愛知県が保有する防災ヘリコプター「わかしゃち」とともに、2機種3機体制で、愛知県全域の安心・安全を空から守っています。

主な出動災害

- 平成 7年(1995年) 阪神・淡路大震災(兵庫県)に災害派遣
- 平成 9年(1997年) 日産生命館(名古屋市中区)高層火災において、屋上避難者17名を救助
(日本で初めて火災現場でのホスト救助)
インドネシア森林火災に災害派遣
- 平成16年(2004年) 新潟県中越地震(新潟県)に災害派遣
- 平成23年(2011年) 東日本大震災(岩手県、宮城県、福島県)に災害派遣
- 平成30年(2018年) 平成30年7月豪雨(岡山県)に災害派遣
- 令和元年(2019年) 東日本台風による災害(長野県)に災害派遣

出動エリア

Dispatch area

愛知県全域を主な出動エリアとし、必要に応じて岐阜県、三重県、静岡県など近隣の県へも出動します。消防防災ヘリコプターの特徴である、高速性や機動性を活かし、名古屋市内であれば約10分以内、渥美半島へも約20分以内で到着することができます。

機体データ

Aircraft data

機体名 (愛称)	のぶなが	ひでよし	わかしゃち
機体番号	JA758A	JA08AR	JA23AR
最大出力	780×2馬力		1856馬力
全備重量	4,300kg		5,398Kg
座席数	14座席		15座席
巡航速度	269km/h		231Km/h
航続時間	3.7時間		4.2時間
上昇限度	6,100m		4,974m
燃料搭載量	1,158ℓ		1,251ℓ



※3機平均巡航速度256km/hで試算

任務

Mission

情報収集

Information Gathering

大規模な震災や風水害が発生した際に、ヘリコプターの高速性や機動性を活かし、上空から被害状況の確認を行います。
また、建物や林野における火災においても、上空から高性能カメラを使い、被害状況や延焼状況を確認して、地上で活動する消防部隊へ活動支援を行っています。



捜索・救助

Search・Rescue

ヘリコプターから救助隊員が降下して、河川や海での水難事故、山岳地域などでの遭難者や負傷者の捜索・救助活動を行います。
「安全・確実・迅速」に、操縦士や整備士、救助隊員が連携して活動を行います。



空中消火

Aerial Fire Extinguishing

建物火災や林野火災で上空からの散水が必要な際に、消火タンクや消火バケツを活用した消火活動を行います。消火バケツは一度に400リットルから900リットルの水を散水できるため、大量の水が必要な場所や、消防車が近づけない山火事などでその威力を発揮します。



救急

Emergency Medical Service

陸路では搬送に時間を要する地域でも、ヘリコプターの機動力を活かして、災害現場から病院まで最短経路で傷病者を搬送することができます。
機内には、救急資器材を積載し、病院や救急隊に引き継ぐまでも継続的に傷病者の管理を行います。



主要装備品

Main Equipment

機体には、上空から地上の消防隊などへ映像送信するための高性能カメラ、救助隊員が降下するためのホスト装置、傷病者への応急処置用の救急資器材等の様々な装備品が積載されています。
降下する隊員は、通常時はハーネスや携帯無線機等、水難出動時は通常時の装備に加えウェットスーツ等を装着して活動します。



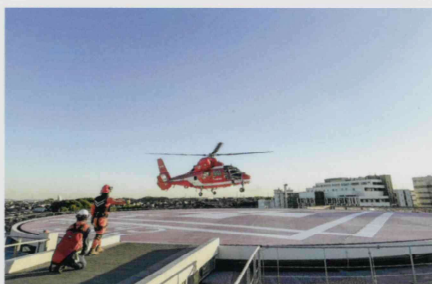
災害に備えて

Prepare for disasters



夜間離着陸訓練の実施

夜間でも、災害の規模・状況により出動することがあります。しかしながら、夜間の飛行は周囲が暗く、パイロットが障害物等を見つけにくくなるため、地上の消防隊等の支援が必要不可欠です。
夜間の出動時に安全確実に活動ができるよう、夜間離着陸訓練を通して、連携を強化しています。



医療機関等との連携

尊い命を救うために、一刻の猶予も許されない救急現場。
航空隊には傷病者を安全・迅速に救助し、素早く医療機関の医師や地上の救急隊へ引き継ぐことが求められます。
定期的に医療機関等との訓練を行うことで、相互の連携を深めるとともに技術の向上を目指しています。



地域防災訓練等への参加

大きな音が発生するヘリコプターは、地域の皆様のご理解があってこそ運航することができます。
より皆様に親しんでいただけるような航空隊を目指して、様々な地域の防災訓練等に参加しています。

沿革

History

昭和48年(1973年)	SA316BアルウェットⅢ型を導入、「なごや」と命名 航空隊員4名をもって運用開始
昭和55年(1980年)	名古屋空港内北西部に庁舎及び格納庫新設
昭和56年(1981年)	SA365C1型ドーファン2を増機、「なごや2」と命名(2機体制)
昭和63年(1988年)	「なごや」をSA365N1型ドーファン2に更新
平成 8年(1996年)	「なごや2」をSA365N2型ドーファン2に更新
平成12年(2000年)	365日勤務体制の開始
平成18年(2006年)	名古屋空港内南西部に庁舎及び格納庫移転
平成19年(2007年)	「なごや」をAS365N3型ドーファン2に更新
平成26年(2014年)	市民公募により、機体の愛称「なごや」を「のびなが」へ、「なごや2」を「ひでよし」へ改名
平成27年(2015年)	「ひでよし」をAS365N3+型ドーファン2に更新
令和 4年(2022年)	愛知県防災ヘリコプターの運航事務受託に伴い、BELL412EPI型「わかしゃち」を加えた3機体制開始



▲初代なごや



▲初代なごや2



▲2代目なごや・なごや2

アクセス

Access



〒480-0202
愛知県西春日井郡豊山町豊場 名古屋飛行場内
TEL 0568-28-0119
FAX 0568-28-0721
名古屋市消防局 消防部消防航空隊

